

「前期幕府直轄時代」について(2)

寛政11年（1799）2月、幕府は蝦夷地經營の基本方針⁶⁹を定めました。が、これらを具体的に実施するには、蝦夷地への多数の和人の移住を必要とするものでした。しかし、当時の情勢としては困難であり、また、和人とアイヌ民族の利害関係を損なう恐れもあるので、しばらく様子を見るにしました。

蝦夷地の警備については、四方を海に囲まれ、土地も広大であるから、これを守るために、アイヌ民族との間に官吏を置いた正当な

東蝦夷地での幕府による直捌

松前藩の発足時から松前氏が所領し經營していた蝦夷地が、幕府の直轄地（直接に管轄すること）となつたことによる住民たちの不安を解消するために、幕府

は、寛政11年正月、藩主章請負人・通詞・番人らについて、本人の希望に任せ、これまで通り使用するとし、請負中の場所の産出物については幕府が調査するので、アイヌの人々との間に不法

交易によってこれを撫育し、外国人の扇動・誘惑に乗らぬよう、生業や衣食住についてもアイヌ民族を補助することにしました。

また、**択捉島**については、その北側の得撫島をロシア人が占拠しているので、特に警戒を厳重にする必要がありました。さらに、蝦夷地の海岸は船でしか行きない所が多く不便なので、道路の開削と旅舎を整備する必要があり、これらすべてに要する経費は、年額五万両と見込まれました。

幕府は、蝦夷地御用の諸官吏の任命が終わると、直ちに各部署に配置・出張させました。「場所受取兼蝦夷交渉」「道路開鑿」、「青森・大畑・石巻及び酒田仕入物取扱」、「政徳丸上乗」、「択捉島掛並に江戸掛」等に配分し、属僚（配下の役人）は寛政11年2月中旬に陸路で江戸より発し、松平忠明ら6名は3月中より出发し、石川忠房ら2名は江戸に留まり事務を執りました。

また、江戸の町人栖原角兵衛外2名に用達（物品の納入職）を命じ、需要品の購入にあたらせました。陸路先発した官吏は、松前・福山の栖原角兵衛の支店を通じて、同地で各場所請負

交易によってこれを撫育し、外国人の扇動・誘惑に乗らぬよう、生業や衣食住についてもアイヌ民族を補助することにしました。

なことが有つてはならないと布達（命令）しました。しかし、交易主体が場所を離れなければなりませんことにより、請負人は請負場所を離れなければなりませんことでした。

官吏の各部署への配置

幕府は、蝦夷地御用の諸

官吏の任命が終わると、直ちに各部署に配置・出張させました。「場所受取兼蝦夷交渉」「道路開鑿」、「青森・大畑・石巻及び酒田仕入物取扱」、「政徳丸上乗」、「択捉島掛並に江戸掛」等に配分し、属僚（配下の役人）は寛政11年2月中旬に陸路で江戸より発し、松平忠明ら6名は3月中より出发し、石川忠房ら2名は江戸に留まり事務を執りました。

また、江戸の町人栖原角兵衛外2名に用達（物品の納入職）を命じ、需要品の購入にあたらせました。陸路先発した官吏は、松前・福山の栖原角兵衛の支店を通じて、同地で各場所請負

交易によってこれを撫育し、外国人の扇動・誘惑に乗らぬよう、生業や衣食住についてもアイヌ民族を補助することにしました。

また、**江戸会所の設置と輸送網の整備**

幕府は寛政11年5月、江戸に会所を設け、官がこれ

を經營し、蝦夷地からの産物と蝦夷地に送る仕入物を取扱い、この江戸掛りの役人の御用の取扱所を箱館に設け、数名の用達をおきました。

また、全國の要港に用達・用聞（取引の情報収集）を

おいて取引の円滑を図り、官船を増やし雇船とともに貨物を運搬し、陸上についても、東蝦夷地に様似山道等を整備し、旅舎を建てて駅遞の制を定め、牛馬を購入して各場所に配置しました。

東蝦夷地の警備についても、アイヌの人々を集め、米や酒をふるまう「オムシャ」の際にこのことを諭すとともに、身寄りのない人々を救け、病人を手当するなどをしたので、アイヌの人々は産業に勉めました。

人から各場所にある建物・漁具等の購入を交渉し、官吏自ら蝦夷地に入り、浦河で土地を松前藩から受け取り、アイヌの人々に幕府の直捌の趣旨を伝え、通詞・番人らはこれまで通りの者を採用し、場所請負人に代わって、官吏がこれを監督して交易を営みました。

アイヌ民族に対しても、交易を正しく行うと共に、魚網を貸して漁法を教えるなど産業を奨励し、從来和風とすることを禁じていましたが、これを奨励する」ととし、蝦夷地に法制を敷くために「三箇条の法」を定めました。

「三箇条の法」

アイヌ民族に対しても、交易を正しく行うと共に、魚網を貸して漁法を教えるなど産業を奨励し、從来和風とすることを禁じていましたが、これを奨励する」ととし、蝦夷地に法制を敷くために「三箇条の法」を定めました。

アイヌの人々を集め、米や酒をふるまう「オムシャ」の際にこのことを諭すとともに、身寄りのない人々を救け、病人を手当するなどをしたので、アイヌの人々は産業に勉めました。